

AIRMATIK

FDCシリーズ

取付要領書

1. 特 徴

- 1) 加湿器本体に収める電気部品を最低限にする為に、加湿器本体とコントロールボックスに分離してあります。
- 2) 発生する霧は、超音波により霧化される為粒子が非常に細かく、常時完全なガス状を呈しています。
- 3) 水槽ケーシング材質はSUS304で耐食性に優れ、振動子の電極は水垢付着が少なく、耐蝕性にも優れています。
- 4) 給水はフロートスイッチと電磁弁の機構から自動で行われ、低水位時には低水位フロートスイッチが動作して自動的に電源を遮断します。

2. 加湿器本体の取付け

- 1) 付属のドレンパンを天吊金具やアングル等にM8ボルトでしっかりと固定し、加湿器本体を取付けてください。
- 2) メンテナンスが可能な様に、容易に取外しできるスペースを確保してください。
- 3) 加湿器本体が水平になる様取付けてください。
(前後左右傾き5mm以内) 水平が出ていない場合、霧化量の低下、オーバーブロー等の故障の原因となります)
- 4) ドレンパン排水接続口に排水配管を接続してください。(RC 3/4)
- 5) 取付に際し、天井面から約300mm以上離してください。
- 6) 吹出し口直下にはなるべく物を置かないようにしてください。(湿る場合があります)

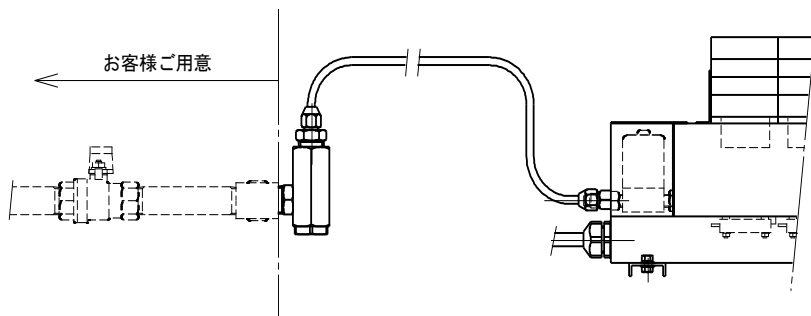
3. コントロールボックスの取付け

- 1) 壁面に確実に固定してください。
取付け場所は点検などが可能なように、容易に取外し出来るスペースを確保してください。
- 2) 電線管等を使用される場合にはゴムブッシングを取外し取付けてください。
(電線管は呼び径19のサイズのものを使用してください)

4. 給水管の接続方法

- 1) 接続は必ず付属のハーフユニオン、銅管、L型ストレーナを使用してください。
給水配管の接続口径は1/2Bです。
- 2) 供給水水圧0.02~0.5Mpa 水温5~45℃
- 3) 給水配管には必ず加湿器本体近くにサービス弁を設置してください。
- 4) 接続前にフラッシングなどを行い配管内の切粉、ゴミ、錆等を完全に除去してください。
- 5) 給水は、公共の水道管から直接接続することは出来ません。
このような場合にはシスターンを別途設けてください。

5. 給水管接続例



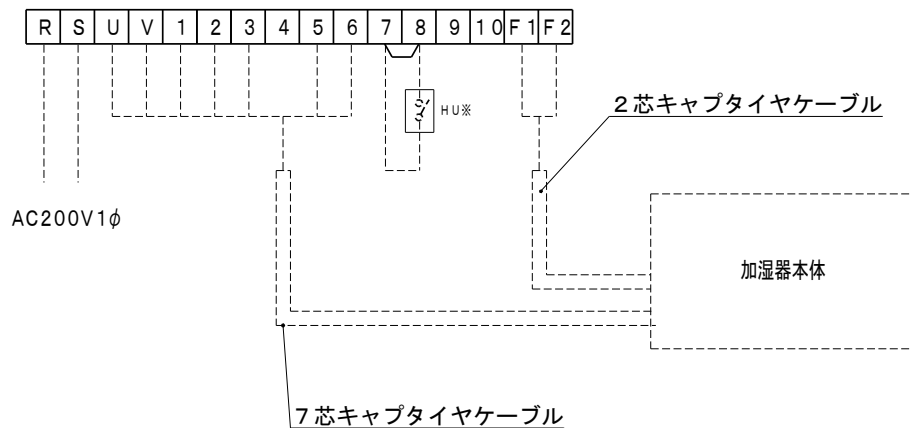
給水配管接続口径1/2B

6. 結線要領

- 1) 湿度調節器は7・8番端子間に接続し、短絡線を外して接続してください。
- 2) アースは必ず加湿器本体、コントロールボックス、各々設けてください。
- 3) 加湿器本体より出ているコード（7芯と2芯）をコントロールボックスの端子番号に合わせて配線してください。
- 4) 配線終了後、電源投入前に配線の確認を必ず行ってください。

コントロールボックス端子台

※ 湿度調節器を7・8端子間に接続する場合は短絡線を必ず取除いて下さい。



AIRMATIK

エアマテック株式会社

Systems for Humidification 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目30番15号(VORT高田馬場 I)

電話:03(3209)8191/FAX:03(3209)8170

大阪営業所:〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目1番15号(アセズ新大阪)

電話:06(6300)5661/FAX:06(6300)5662

狭山サービスセンター:〒350-1305 埼玉県狭山市入間川4-8-9

電話:04(2945)3991/FAX:04(2945)3993

水戸工場・技術部:〒311-0103 茨城県那珂市横堀851-13

電話:029-270-8031/Fax:029-270-8032



ISO 14001:2015 認証取得 水戸工場

0401.043-1